

第1学年2組 生活科学習指導案

**がっこう だいすき ともだち だいすき
～うさぎと なかよし大作戦！～****1. 目標**

- (1) 小動物に関心を持ち、親しみながら関わろうとすることができる。
(生活への関心・意欲・態度)
- (2) うさぎとふれあいながら、自分なりに感じたり考えたりしたことを絵や言葉で表現することができる。
(活動や体験についての思考表現)
- (3) うさぎとふれあう体験を通して、うさぎの特性に気づき、自分と同じように生きていることに気付くことができる。
(身近な環境や自分自身への気づき)

2. 指導にあたって**(1) 教材について**

本校は、うさぎを3羽飼育している。このうさぎの飼育活動を1年生の時から始めることで、うさぎに愛着がわき、自分たちの学校にいる大切な飼育動物であるという意識を育てることができると考える。また、言葉を発しないうさぎに親しみを持って関わることで、うさぎの思いを察したり、大切にしたりする態度を育てることができると考えた。このように小動物であるうさぎにやさしく温かい心で接することができれば、友だちにも思いやりのある関わり方ができるであろう。そして学校生活もより楽しく、生き生きとしたものになると思われる。したがってうさぎは、いのちについて考えることのできる学校の生きた教材であると言える。

(2) 児童について

アンケート結果によると、家庭で生き物を飼育している児童は、4割程度であった。そのうち、抱ける動物は、約1割である。そして、生き物の世話をするのが好きと答えた児童であっても関心のある昆虫だけを採集して遊び、最後まで飼育を継続できないのが現状である。また学校にいるうさぎの世話の手伝いには、便や尿の臭いを嫌がっていた児童もいた。しかし、友だちと協力しながら飼育に関わる経験を重ねていくうちに、徐々にうさぎへの関心を示すようになってきた。毎日うさぎの様子を見ながら、小さな変化に気づき、うさぎのことを気遣うやさしい声が聞かれるようになってきた。こうして飼育経験を重ねることで、いのちへの関心が徐々に芽生え始めてきているようである。

(3) 指導について

うさぎと飼育小屋で出会い、えさをあげたり様子を観察したりして可愛がる体験。飼育方法について絵本を読んだり図鑑で調べたりして、興味・関心を持たせる活動。また教室での飼育・ふれあい体験。これまで子どもの思いに寄り添い、段階を踏んでうさぎと関わる体験を重ねてきた。そしてなかよく遊ぶ活動を通して、うさぎの気持ちを考えながら関わる態度を育てたいと考えている。さらにうさぎに触れてみて体の温かさを感じたり、心音を聴いたりするような五感を通した豊かな体験から、生命を実感し、生きていることについての気づきも生まれると思われる。そのためには、専門的な立場からの支援を得るために、獣医師との連携を図ることが必要であると考えた。このように多様な活動を通して、やさしさや思いやりの心を育てるとともに、自他ともにいのちあるものを大切にする子になって欲しいと願っている。

3. 単元計画と評価規準（総時数 13時間+課外）

次	時	主な学習活動	①生活への 関心・意欲・態度	②活動や体験についての 思考表現	③身近な環境や 自分自身への気付き
第一次（一学期）	1	うさぎさん こんにちは 学校探検でうさぎに出会う。	出会ったうさぎに関心を持ち、どんなことをしたいかを話し合おうとしている。 (行動観察・発言)		
	1 + 課外	おせわの てつだいをしよう えさをあげたり、小屋のそうじの手伝いをしたりする。		飼育委員の上級生や飼育担当の先生から世話の仕方を聞いたり、調べたりして飼育の仕方について考えることができる。 (発言、ワークシート)	
第二次（二学期）	2	うさぎを しょうたいしよう うさぎを教室に連れて来て、えさをやったり、触ったりしてふれあう。	うさぎと楽しくふれあったり、世話をしたりしようとする。 (行動観察・発言)		
	1	うさぎのひみつを みつけよう うさぎのいろいろな特性に気づいたことを絵や文にまとめる。			うさぎにふれあいながら、うさぎのひみつ（特性）に気付いている。 (ワークシート、発表)
	1	じゅういさんが やってきた うさぎについて知りたいことを調べることができる。		うさぎについて知りたいことを獣医さんに質問して、知りたいことやわからないことを調べることができる。 (発言)	
第三次（二学期）	1	なかよくなるには どうしたらいいの どんなことをしたらよいかについて考える。		うさぎとなかよくなる作戦について考えたり、話し合ったりすることができる。 (発言)	
	2 + 課外	なかよし だいさくせんの じゅんぴをしよう 考えたことについてそれぞれが準備をする。		自分たちの考えたなかよし作戦の準備をすることができる。 (行動観察、作品)	
	1	うさぎとなかよし だいさくせん！ 考えた作戦でうさぎとなかよくふれあう活動をする。	うさぎとなかよくなるために自分たちの考えた方法でふれあおうとする。 (行動観察、つぶやき)		
	1 (本時)	もっとなかよし だいさくせん！ 考えた作戦でうさぎともっとなかよくふれあう活動をする。			うさぎとなかよくふれあいながら、自分と同じように生きていることに気付いている。 (行動観察、つぶやき)
第四次（三学期）	1	さむくなったね うさぎさん 冬を過ごすうさぎのことを思い、うさぎのためにできることについて考えることができる。		冬の季節を過ごすうさぎのことを気づかい、自分たちができることは何かについて考え、話し合うことができる。 (発言、ワークシート)	
	1	ありがとう うさぎさん なかよくしてもらったうさぎさんにありがとうの気持ちを伝えることができる。	うさぎにお礼のお手紙を書いて読んだり、歌を歌ったりして、ともに楽しく過ごそうとする。 (手紙、行動観察)		

4. 本時の学習 (第3次 11/13時)

- (1) 小単元名 うさぎとなかよし だいさくせん! ~もっとなかよく ふれあおう~
- (2) 目標 うさぎとふれあいながら、自分と同じように生きていることに気付く。
- (3) 評価規準 うさぎとふれあいながら、自分と同じように生きていることに気付いている。
(身近な環境や自分自身への気付き)
- (4) 準備 ケージ、えさ、うさぎの家、うさぎのおもちゃ、言葉カード、診察券、聴診器
- (5) 展開

学 習 内 容 (45分)	◇評 価 ◎支 援
<p>1. 本時のめあてをつかむ。 (5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">もっとなかよしだいさくせん!をしよう</p> </div> <p>(どんな作戦かについて話し合う。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にんじんが好きなチャビちゃんのために、レストランを作ってメニューをふやしました。 ・元気いっぱいのコロンちゃんだから、遊び場を作りました。 <p>2. 「もっとなかよしだいさくせん!」の活動をする。 (3グループに分かれて活動をする。) (25分)</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">大すきなシロツメクサだよ。 おいしいからたくさん食べてね。</p> <p style="text-align: center;">ダンボールでトンネルやめいろをつくったよ。たのしいよ。</p> <p style="text-align: center;">木のおもちゃを作ったよ。 かじってね。</p> <p style="text-align: center;">どれどれ、診察してみよう。 心臓の音はどうか。 いっしょにきいてみよう。</p> </div> <p>3. 「もっとなかよしだいさくせん!」について話し合う。 (10分)</p> <div style="margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">いっぱいえさを食べてくれたから、うれしかったです。</p> <p style="text-align: center;">じゅういさんからしんぞうのおとをきかせてもらって、びっくりしました。</p> </div> <p>4. 獣医さんのお話を聞いてお礼を言う。 (5分)</p>	<p>◎自分のしたいことは、何かを確認しておくために、黒板にコーナー名を提示する。</p> <p>◎約束の確認をしておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おどろかさない。 ・いやがることはしない。 ・やさしくふれあう。 </div> <p>◎自分の思いをうさぎに話しかけている子を見つけて広める。 (獣医さんもいっしょにふれあいながら、活動の様子を見てアドバイスしてもらおう。)</p> <p>◎自ら主体的に関わろうとしている態度を認めたり、賞賛したりする。</p> <p>◎うさぎの様子がおかしかったら、獣医さんに相談したり、診察してもらったりするようにする。 (診察カードを持って獣医さんの所へ行き、順番を守って診てもらおう。)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇うさぎが自分と同じように生きていることに気付いている。 (行動観察、つぶやき) (視点② いのちの共生)</p> </div> <p>◎よかったことやうれしかったことをみんなに紹介し合うようにする。</p> <p>◎五感を通して感じたこと(したこと、さわったこと、見たこと、聞いたこと、思ったことなど)を認め、満足感や充実感につながるようにする。</p> <p>◎生きているということやいのちの大切さについてメッセージを伝えてもらう。</p>

5. 授業の視点

- ①うさぎとのふれあいは、いのちの大切さを学ぶ体験として有効であったか。